

震災を語り伝える 若者たち

みやぎ・きずな **F**プロジェクト



いのちがまんなか

F

ふるさと・復興・future
地域とともに未来に生きる

瀬成田 実

SENARITA Makoto



2022年3月刊行

A5判、180ページ

定価 1980 円

(本体 1800 円+税 10%)

かもがわ出版

学校が守るべきは子どもの〈命〉。

「初めて生徒が登校したときは、『生きててよかった』と思わず抱きしめました」

「震災後の授業では教科書すらないため、ただただ家のことや家族のことを語り合いました」

学校は、子どもと教師の裸のふれあいの場になったのです。そこでは、競争はありません。点数や成績の話も不要です。

東日本大震災は、命を学ぶかけがえのない教材、異次元の〈大きな学び〉だったと思います。

本書は、2015 年 4 月に宮城県七ヶ浜町立向洋中学校に入学した子どもたちの 6 年あまりの学びと成長の記録です。

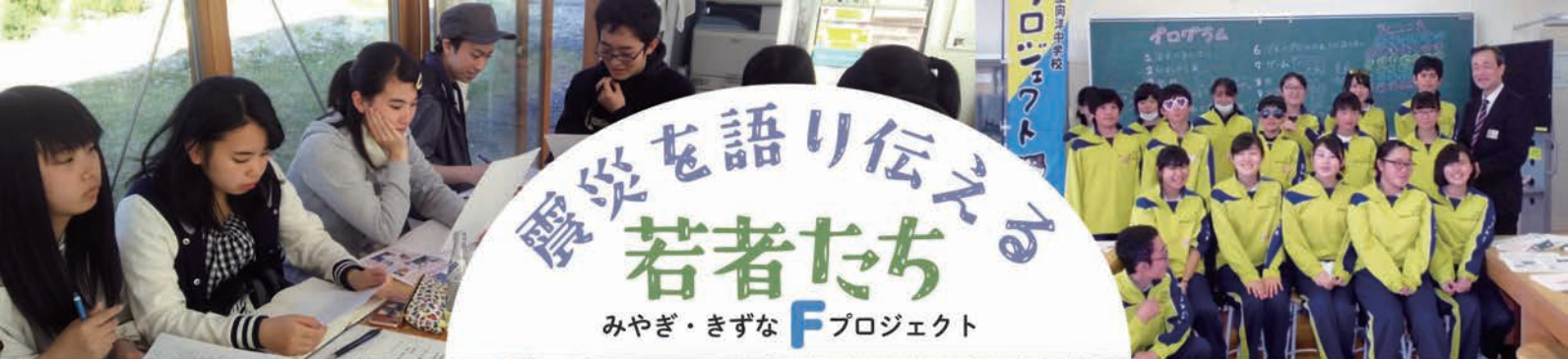
震災学習で子どもたちは友と出会い直し、被災者から勇気もらい、「町の役に立ちたい」と、Fプロジェクトという有志チームを立ち上げます。

メンバーは、ごく普通の子もたち。とびっきりすごいリーダー性のある子たちの集まりではありません。

そして、ビーチクリーン活動や被災者との交流会を通し、地域に目を向けていきます。母親と祖母を亡くした双子姉妹は、さまざまな活動に熱心に参加し、語り部の話を聞く中で、徐々に心を開き、語り部に挑戦していきます。活動は、高校進学後も続き…そんなストーリーです。

読者のみなさんが、それぞれの視点でこの本を読んでいただき、何かを感じていただければ幸いです。

瀬成田 実 (本書より)



震災を語り伝える 若者たち

みやぎ・きずなFプロジェクト



- はじめに もくじ
- 震災を学び、子どもたちと紡ぐドラマ
- I部 ミユウとユウミ 語り部誕生の物語**
- 1章 震災の記憶を伝える
紙芝居に託した若者たちの思い
「つらくてもやってみたい」
14歳の震災語り部誕生
- II部 ふるさと・復興・future／Fプロジェクト始動**
- 3章 地元七ヶ浜の復興を支える
中学生プロジェクト
- III部 社会科教師として取り組んだいのちの学習**
- 4章 今、震災学習の意味を問う
- IV部 地域とともに未来に生きる**
- 5章 未来を照らすおとなたちに支えられて
6章 高校卒業後も将来に続く学び
7章 若者の人生を地域で支える中学校教師
- 教師として、父親として、
あるときは地域のおじさんとして
田口久美子
いっしょに生きていく
- あとがき
- 瀬成田 実**（せなりた・まこと）
みやぎ教育相談センター所長。1958年仙台市生まれ。宮城県で中学校社会科教師を務め、2021年3月退職。子どもの自治活動を大切に、数々の実践に取り組む。全国生活指導研究協議会（全生研）会員。
震災当時、宮城県教職員組合書記長として、被災校支援に奔走した。七ヶ浜町立向洋中学校卒業生による「きずなFプロジェクト」顧問。小学生から大学生を対象にした震災授業を続けている。

株式会社 **かもがわ出版**
http://www.kamogawa.co.jp/

〒602-8119 京都市上京区堀川出水西入
TEL:075-432-2868 FAX:075-432-2869

発注・出荷に関するお問い合わせは
かもがわ出版流通センターまで

〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町18
TEL:075-672-0034 FAX:075-672-0035

注文書

番線印

注文数

かもがわ出版 注文FAX:075-672-0035

震災を語り伝える若者たち

みやぎ・きずなFプロジェクト

瀬成田 実 著

ISBN978-4-7803-1211-9 C0037

定価（本体1800円＋税10%）

お名前（ふりがな）

TEL

ご住所 〒

冊